

# 食品リサイクル・環境活動レポート

2009年度レポート

2010年 10月27日



株式会社 本田商店

# 食品リサイクル・環境方針

当社は、企業経営理念に基づき「自然との共生」「地球環境を守ろう」をスローガンに、環境との共生、調和を最重点課題と認識し、全社員あげて環境負荷の低減に配慮した活動に取り組めます。そのために、以下の「環境方針」を定めます。

- 1 事業を通した自然環境保全の推進  
すべての事業活動において、自然環境の保全に努めます。
- 2 資源(米を含む)・エネルギーの効率的な利用  
事業所におけるエネルギーや水資源の投入量などを把握して、省エネルギー、省資源、節水、食品リサイクルの推進に努め、その活動結果を見直し、継続的な環境改善と環境管理の維持、向上に取り組めます。
- 3 関連する食品リサイクル並びに環境の法規、条例及びその他の規制事項を順守します。
- 4 全員参加による食品リサイクル及び環境保全活動を実行することを誓約します。

この環境基本方針を基に2010年度の重点施策は、次の通りとします。

- 1 節水
- 2 省エネルギー(ガソリン・軽油・重油・電力)
- 3 廃棄物の分別、削減
- 4 古紙のリサイクル
- 5 食品リサイクルの徹底

制定 2010年 10月 1日

株式会社 本田商店

代表取締役

本田真一郎

## 当社の概要

### 1 会社概要

- ① 会社名 株式会社 本田商店
- ② 所在地 兵庫県姫路市網干区高田361-1番地
- ③ 事業内容 酒類の製造、販売
- ④ 代表取締役 本田 眞一郎
- ⑤ 資本金 15,000,000円
- ⑥ 従業員数 28名
- ⑦ 敷地面積 5236,66m<sup>2</sup>
- ⑧ 延床面積 5617,21m<sup>2</sup>
- ⑨ 事業の規模  
年商 74390万円  
清酒製造量 21BY 270KL
- ⑩ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先  
責任者 代表取締役 本田眞一郎  
担当者 研究室 朴 杓汝  
連絡先 TEL 079-273-0151 FAX 079-274-2454

### 3. 食品リサイクル・環境活動の実績とその目標

#### (1) 食品リサイクルの実績

食品リサイクル事項は酒造の重要業務事項として対処しておりますので、現在の内容を記載しておきます。

また、平成20年6月20日にエコアクション21のガイドライン変更に伴い、当社として食品リサイクルへの対応するため食品廃棄物の定義を定めた。

国税庁酒税課資料によると清酒からの酒粕は食品廃棄物に該当しないとしているのでこれを採用するが、販売できず廃棄物になったものは食品廃棄物とする。

米糠は酒税課資料によると食品廃棄物に該当するが当社焼酎原料になるものは対象外とする。

年度	対象物	発生量(t)	食品廃棄物 対象外(t)	食品廃棄物 (t)	再生利用量 (t)	実施率 (%)	再生用途
19年度	米糠	93	19	74	74	100	商品・肥料
	酒粕	45	45				
	焼酎粕	4		4	4	100	肥料
20年度	米糠	97	20	77	77	100	商品・肥料
	酒粕	38	38				
	焼酎粕	4		4	4	100	肥料
21年度	米糠	97	20	77	77	100	商品・肥料
	酒粕	41	41				
	焼酎粕	4		4	4	100	肥料

再生利用：糠、酒粕は自社焼酎の原料として使用のほかは、商品として取引されている。また糠の一部は有機農法の契約農家の米の肥料として使用されている。

### 3. 環境負荷の実績とその目標

#### (1) 環境負荷の実績

当社における二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び排水量の実績は以下の通りである。

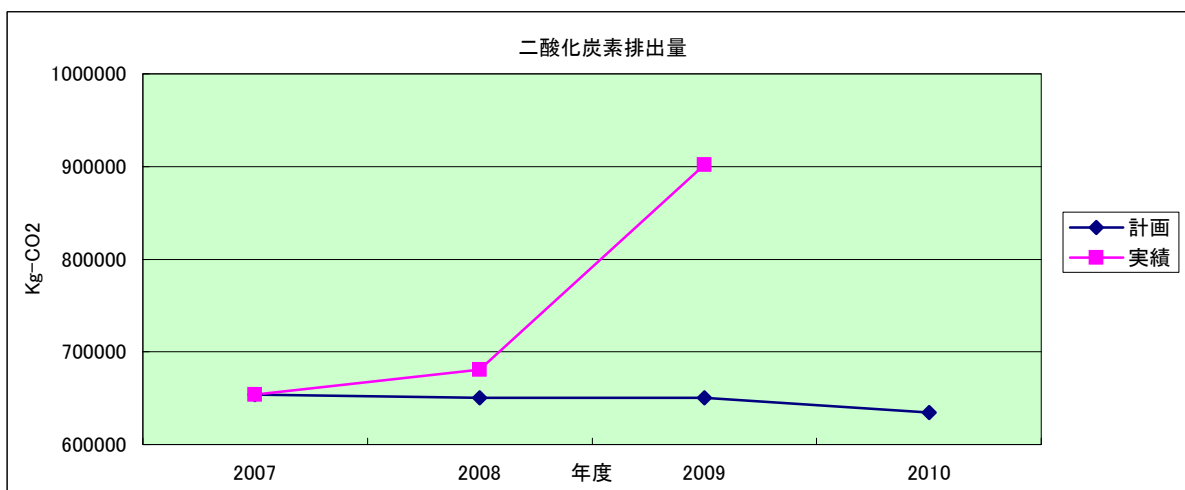
	2007	2008	2009	
二酸化炭素排出量 (Kg-CO <sub>2</sub> )	654029	681121	902133	
廃棄物排出量 (t)	2.39	2.06	2.95	
総排水量 (t)	32000	35075	28395	

#### (2) 今年度以降の目標

今後、環境経営システムを構築・運用し、2007年度に対し、2010年までにそれぞれ次のように削減することを当面の目標にする。

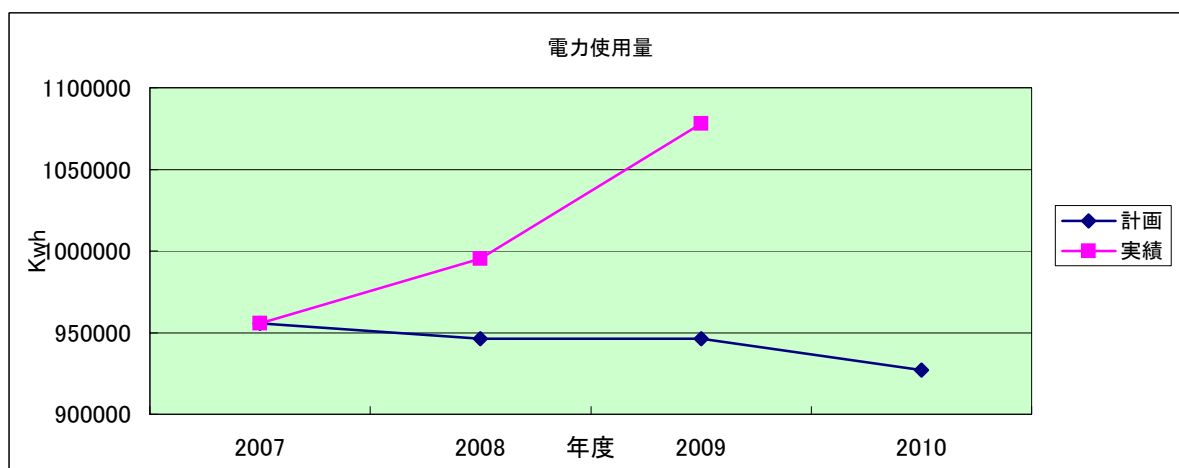
##### ① 二酸化炭素排出量

エネルギー使用の合理化により、3%削減を目指す。



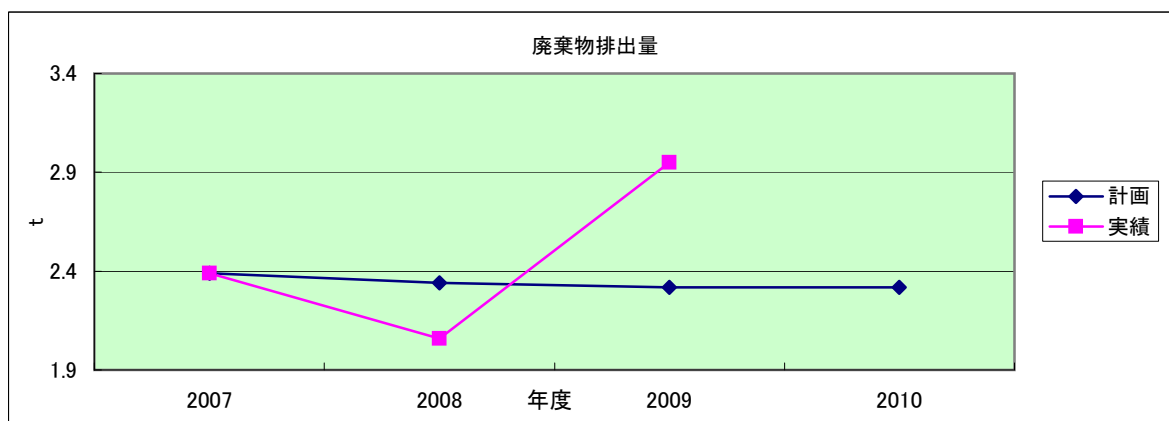
##### ② 電力使用量(二酸化炭素排出量のうち電力分)

2007年度の電力使用量は、955727KWhであったが、省エネの一環として2010年までに3%削減を目指す。



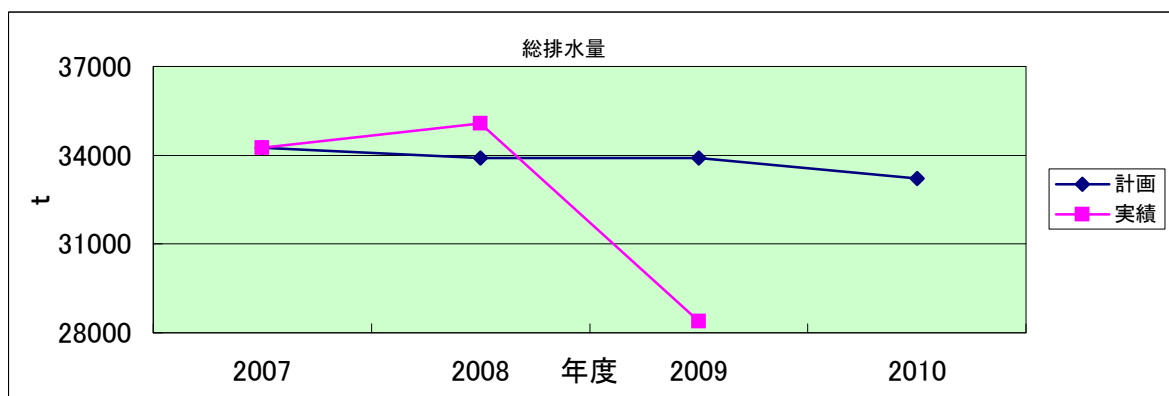
③ 廃棄物排出量

廃棄物の分別の徹底、廃棄容量の圧縮、リサイクル化を推進し、3%削減を目指す。



④ 総排水量

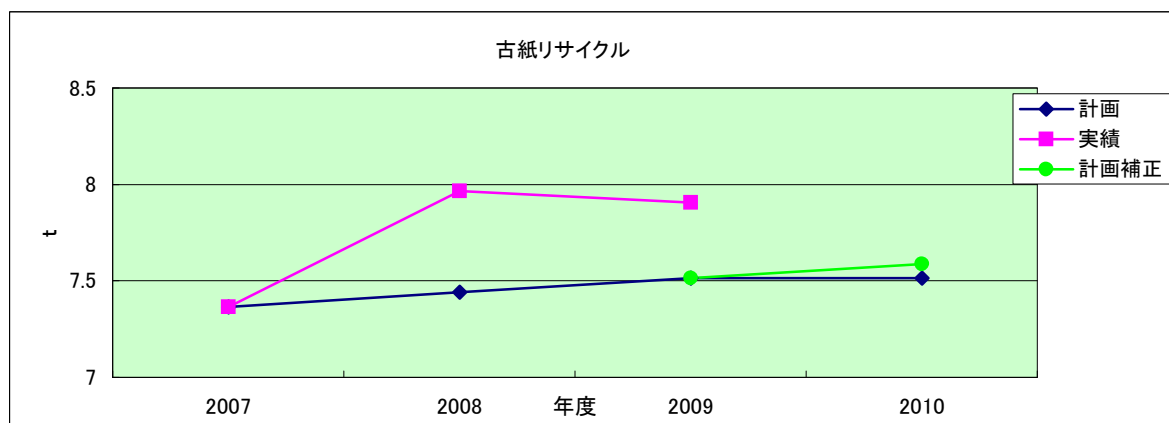
清酒製造工程において、水は原料、原料処理、洗浄と不可欠なものであり、削減は困難であるが、工程の管理、節水等の見直しにより、3%削減を目指す。



⑤ 古紙リサイクル

紙類の分別化により2%増加を目指す。

2010年度は3%増加を目指す。



#### 4. 主要な環境活動計画の内容

##### (1) 二酸化炭素排出量削減のための活動計画

- |               |        |
|---------------|--------|
| ① 設備電源空転時停止   | 各部署担当者 |
| ② エアコンの温度適正運転 | 総務     |
| ③ 不用照明の消灯     | 各部署    |
| ④ 配送の合理化      | 配送管理   |
| ⑤ アイドリングの停止   | 配送     |
| ⑥ ボイラーの運転適正化  | 製造担当者  |

##### (2) 廃棄物排出量削減のための活動計画

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| ① 両面コピーの徹底              | 総務    |
| ② 廃棄物の分別<br>(リサイクル率の向上) | 各部署   |
| ③ 食品製造時の副産物の活用          | 製造担当者 |

##### (3) 排水量削減のための活動計画

- |               |       |
|---------------|-------|
| ① 工場内水漏れ箇所の補修 | 製造担当者 |
| ② 節水          | 各部署   |

## 5. 環境活動の取り組み結果の評価

取り組み計画	評価																																				
(1) 二酸化炭素排出量削減のための活動計画 ① 設備電源空転時停止 ② エアコンの温度適正運転 ③ 不用照明の消灯 ④ 配送の合理化 ⑤ アイドリングの停止 ⑥ ボイラーの運転適正化	<table border="0"> <tr> <td>計画</td> <td>電力</td> <td>946169 kwh</td> <td>525124 kg-CO<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>1077963 kwh</td> <td>598269 kg-CO<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>87.8 %</td> <td>87.8 %</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>燃料</td> <td>109572 L</td> <td>290007 kg-CO<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>115202 L</td> <td>296321 kg-CO<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>95.1 %</td> <td>97.9 %</td> </tr> <tr> <td>計画合計</td> <td></td> <td></td> <td>815131 kg-CO<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td>実績合計</td> <td></td> <td></td> <td>894590 kg-CO<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td>91.1 %</td> </tr> </table> <p>教育訓練により従業員の意識が向上。 電力、燃料ともに目標を達成できなかった。 効果が上がるよう取り組む様にする。</p>	計画	電力	946169 kwh	525124 kg-CO <sub>2</sub>	実績		1077963 kwh	598269 kg-CO <sub>2</sub>	達成率		87.8 %	87.8 %	計画	燃料	109572 L	290007 kg-CO <sub>2</sub>	実績		115202 L	296321 kg-CO <sub>2</sub>	達成率		95.1 %	97.9 %	計画合計			815131 kg-CO <sub>2</sub>	実績合計			894590 kg-CO <sub>2</sub>	達成率			91.1 %
計画	電力	946169 kwh	525124 kg-CO <sub>2</sub>																																		
実績		1077963 kwh	598269 kg-CO <sub>2</sub>																																		
達成率		87.8 %	87.8 %																																		
計画	燃料	109572 L	290007 kg-CO <sub>2</sub>																																		
実績		115202 L	296321 kg-CO <sub>2</sub>																																		
達成率		95.1 %	97.9 %																																		
計画合計			815131 kg-CO <sub>2</sub>																																		
実績合計			894590 kg-CO <sub>2</sub>																																		
達成率			91.1 %																																		
(2) 廃棄物排出量削減のための活動計画 ① 両面コピーの徹底 ② 廃棄物の分別 (リサイクル率の向上) ③ 食品製造時の副産物の活用	<table border="0"> <tr> <td>計画</td> <td>2.318 t</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2.951 t</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>78.5 %</td> </tr> </table> <p>廃棄物の分別、再利用を中心に取り組み 目標を達成することができた。 更に効果が上がるよう取り組む様にする。</p>	計画	2.318 t	実績	2.951 t	達成率	78.5 %																														
計画	2.318 t																																				
実績	2.951 t																																				
達成率	78.5 %																																				
(3) 排水量削減のための活動計画 ① 工場内水漏れ箇所の補修 ② 節水	<table border="0"> <tr> <td>計画</td> <td>33908 L</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>28395 L</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>119.4 %</td> </tr> </table> <p>節水運動により意識は向上しているが 清酒製造のピーク時は目標を達成できたが 増産している焼酎の製造期の排水量が増加、</p>	計画	33908 L	実績	28395 L	達成率	119.4 %																														
計画	33908 L																																				
実績	28395 L																																				
達成率	119.4 %																																				
(4) 古紙リサイクルのための活動計画 ① 廃棄物の分別 (段ボール、事務系紙類の分別)	<table border="0"> <tr> <td>計画</td> <td>7.513 t</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>7.906 t</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>105.2 %</td> </tr> </table> <p>資材の流通函を製品函に使用できる様に改善。 廃棄していた事務系紙類の分別を徹底 する努力する。</p>	計画	7.513 t	実績	7.906 t	達成率	105.2 %																														
計画	7.513 t																																				
実績	7.906 t																																				
達成率	105.2 %																																				

本評価は平成21年10月から平成22年9月の1年間の実績に基づき実施したものである。  
食品製造時の副産物の活用は創業時より取り組み、現在100%活用している為  
グラフ等は作成していない

## 6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

適用法令等	順守状況	備考
水質汚濁防止法 第14条第3項 瀬戸内海環境保全特別措置法 第8条第1項	特定施設の設置：届出済 排水規制：COD, BOD, SS、PH 規制値内	
大気汚染防止法 第6条第1項	特定ばい煙発生施設：届出済 排出規制：ばいじん、SOx Nox規制値内	
労働安全衛生法 昭和47年法律第57号	ボイラー圧力容器：届出済 定期点検：異常なし	
消防法(危険物) 法第10条第1項	地下タンク：届出済 危険物貯蔵庫：届出済	
食品リサイクル法 平成12年法律第116号 平成19年法律第83号(改正) 法第9条第1項	定期の報告 定められた省令様式による報告書を毎年6月末 までに提出	

上記並びに関連のある食品衛生法、食品リサイクル法、容器リサイクル法、廃棄物処理法、工業用水法について、自社での順守確認でも違反はなくまた関係機関からの指導指摘、地域住民よりのクレームも過去3年以上なかった。また訴訟もなかった。

代表者による全体の評価と見直し記録（21年10月～22年9月の1ヶ年対象）

見直し情報	指示内容・変更の必要性の有無
<p>[方針・目標、達成状況] 第2期の2年目に入り方針は徹底され、負荷、取組のチェックに基づき設定された目標項目、目標値は適切と考えられる。目標の達成状況、修正対策は進捗管理書の通りである。</p> <p>二酸化炭素の排出削減は目標を下回り達成しておらず、特に電力使用量は冷房施設が多く酷暑のために増加した。、燃料使用量は僅かに達成できず、廃棄物に関しては、設備の更新のために増加し、達成できなかった。排水量は目標値を達成できた。段ボール紙類のリサイクルは分別が進み達成。</p>	<p>[環境方針・環境目標] 指示内容： 環境への取組の重要性に基づき設定した方針であり、目標は当社の環境負荷、取組の実態を踏まえ決定したもので、従業員全員の理解と努力により結果的には一部不達成があるものの良好と判断している。平成21年度は本年度の結果を踏まえ、一部目標値の修正も行うが、原則として環境方針、目標は変更せず、中期計画達成に向け対応したい。</p> <p>変更の必要性：<u>有</u> <input checked="" type="radio"/> <u>無</u> 根本的な方針、目標の変更はないが、変更した項目がある場合は打合せの上決定する。</p>
<p>[活動計画の取組状況] 第2期に入り2年目であり、削減目標を達成すべく、各実行責任者のもと、それぞれが活動計画遂行のための実行計画を立てて対処した（進捗管理書、部門別議事録参照）。</p> <p>打合せ回数は少ないが各グループとも適切に取り組んでいる。</p>	<p>[環境活動計画] 対象業務：全体 指示内容： 本年度の目標達成のための活動計画並びに実施状況は適切であったと判断します。22年度も活動計画事項は続けるので、有効手法は継続し、問題点については修正対策内容を考え、評価方法も含め取り組む様にして下さい。ただ、取り組みについては、できるだけデータを取って対応してください。</p>
<p>[法律等の順守状況] 期間内における順守状況は登録簿の評価通り良好である。</p>	<p>変更の必要性：<u>有</u> <input checked="" type="radio"/> <u>無</u> 期限： 年 月 日</p>
<p>[環境経営システム実施状況] 本年度2010年3月1日より一部責任者の変更があった。</p> <p>計画も第2期の2年目となり、各グループとも管理に関する認識も深まっており、今後もこの継続を充実することが必要である。</p>	<p>[環境経営システム] 一部責任者の変更はあったが、認証登録企業であること、食品リサイクル優良企業であることを今後も内外にPRしていきたい。</p> <p>変更の必要性：<u>有</u> <input checked="" type="radio"/> <u>無</u> 期限： 年 月 日</p>
<p>報告年月日 22年 9月 30日</p>	<p>発行年月日 22年 9月 30日</p>
<p>環境管理責任者 朴 杓汝</p>	<p>代表者 本田眞一郎</p>